

市P連 白山

HAKU SAN

第2号

発行所 白山市PTA連合会 白山市古城町2番地 白山市松任文化会館内 TEL 276-5611 印刷所 (有)印刷のシロー



平成十七年十月二十九日、白山市鶴来総合文化会館「クレイン」にてPTA連合会教育懇話会が開催されました。オープニングには「美川ちびっこ三味線」の演奏が行われ、続いて「白山市のこれから教育について」と題して小丸隆教育長の講話をいたしました。昨年十月に白山市親善友好交流団員として小学生から大学生までの十名とともにオーストラリアを訪問した経験から、人と触れ合うコミュニケーションの大切さについての実感が紹介され、白山市としては豊かな自然を生かした、感性を磨く教育と公共教育における基礎学力の向上を目標とした教育が必要であることを話されました。また、大人として、子どもたちと多くの関わりを持つことが必要であり、日本語に持つながら、適切な生活習慣を身につけさせ、褒めながら育てる姿勢によるコミュニケーションや文化の發信に力を入れ、豊かな人間性と生きる力を育てていきたいと力強く語られました。

第二部では、小丸隆教育長、山田忠

一 白山市の学校教育について 一

治教育委員、北川恭子小中学校校長代表、疋津恵美子PTA連合会代表、村修一PTA連合会代表をパネリストに迎え、教育に関するパネルディスカッションが開かれました。地域性を生かした教育方法や学力向上、食育に関する提案があり、それぞれの立場から意見が述べられ、また会場の参加者からの発言もあるなど、活発な懇話会になりました。



教育懇話会開催!

白山市PTA連合会



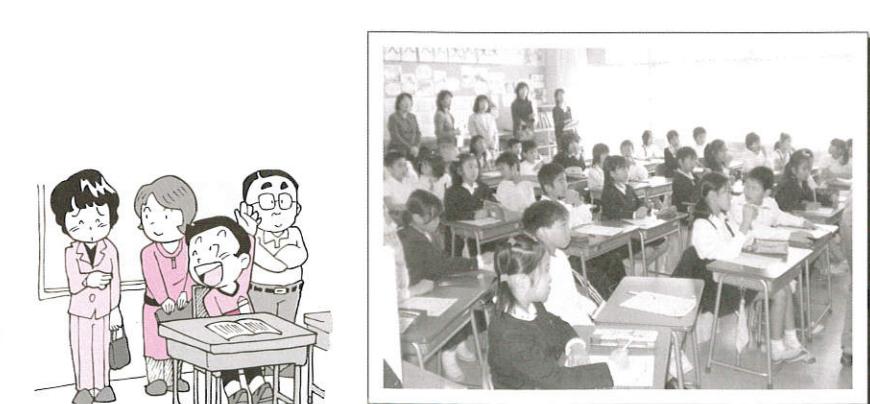
ある十一月一日、私ども松任小学校P.T.A.による平成十七年度の石川県P.T.A.連合会地区別指定研究発表会を松任小学校で開催いたしました。その際、白山市P.T.A.連合会松本会長をはじめ多くの関係各位の皆様方に御出席いただきましたことをこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、今回の研究発表は「地域ボランティアによる授業を公開し、多くの方々に見学していただきました。通常の授業参観とは違い、生き生きとした子ども達の姿を垣間見ることができ、保護者の方々からも好評でした。また、公開授業のあと会場を体育館に移し、これまでの学校やP.T.A.の取組みを紹介・報告し、そして今後の課題などを発表させていただきました。

今回の研究発表会を準備するにあたり、まず今現在学校やP.T.A.また教師や保護者が地域の方々とどのような関わりを持ち、またそれが子ども達の教育環境にどのような影響を与えるのかという疑問を強く抱きました。

そこで、今回の研究発表は「地域ボランティアによる授業を公開し、多くの方々に見学していただきました。通常の授業参観とは違い、生き生きとした子ども達の姿を垣間見ることができ、保護者の方々からも好評でした。また、公開授業のあと会場を体育館に移し、これまでの学校やP.T.A.の取組みを紹介・報告し、そして今後の課題などを発表させていただきました。

このように、保護者の方々からも好評でした。また、公開授業のあと会場を体育館に移し、これまでの学校やP.T.A.の取組みを紹介・報告し、そして今後の課題などを発表させていただきました。



県P連地区別指定研究発表会 を終えて

白山市立松任小学校P.T.A.会長 木下 俊和



はないでしょうか。またそれと同時に子どもを持つ親である私達は、その事に感謝し、私達自身が次の世代にもその精神を受け継いでいく義務と責任を感じなければなりません。殺伐としたこの現代だからこそ、子ども達が多くの人たちとのふれあいのなかで多くの人の心に触れ、そして自分たちの住む「地域一ふるさと」に愛着を持ち、そして誇りに思う心を育んでもらいたいと願います。



数年前から度重なる子ども達を犠牲にする凶悪犯罪、不審者による痴漢や声かけなど、子ども達を取り巻く環境は決して安心できるものではありません。

そういうふたよさまよな問題を抱えた環境をこれから整備するにあたって、地域の大い人一人人が地域の問題として捉え、真剣に考え行動していく必要があると考えます。しかしながら、現代社会では生活スタイルの多様化や価値観の違いなどで全ての問題を全ての人が自らのこととして考えることは容易ではありません。それでも時代は今、私達大人が子ども達を「地域の宝」として常に温かく見守り、時には自分の子どもであつてつながろうと本気で叱れる存在であり続けることを求めているので

「通学路の安全確保についての緊急会議」より

蝶屋小学校 育成会会長 西田 勉

会議の中で私が一番印象に残ったのは、松任警察署の高畠課長のお話で、保護者の努力も必要だという言葉でした。「ご自身がP.T.A.をされたときに、街頭の設置のために保護者として努力された経験を聞き、私たちも忘れないことを教えられました。ともすれば予算がない行政や警察が動いてくれないから出来ないと言つて手をこまねいばかりで何も進まないこともあります、自分たちで出来るところからやっていって、行政、警察、地域にまで運動を広める努力が必要なんだと改めて考えさせられました。

通学路の安全については、教

育長の話の中にもありました。子どもの目線で考えることが大切ではないかと思います。子どもの目線に立った危険箇所の点

検が最重要だと思います。また、子ども達にも安全教育をしつかりしていくことが必要だと思います。

また、行政や警察の情報が学

校や保護者にいち早く届くよう

な連絡網の整備を整え、その上

で家庭と学校と地域が連携して

犯罪抑止に努めていくことが大

切だと思います。防犯の取り組

みは一過性で終わることなく、

継続性のある取り組みが最も重

要ではないで

しょうか。

今年度、市Pとして児童生徒の通学路に関する安全対策要望を白山市防災安全課へ提出しました。この要望は子ども達の通学路で危険と思われる箇所に対して改善を求めるのが趣旨です。合併後、間もない時期でもあり、市として受け入れ体制がまだ整っていないかったのかもしれません。又、合併で地域によって地域差が出る結果になってしまった。

今後も子ども達の安全確保のためには続けていくほしの事業

として地域差が出る結果になつてしましました。

今まで子ども達の安全確保の

問題を全ての人が自らのこととして考えることは容易ではありません。

それでも時代は今、私達大人が子ども達を「地域の宝」として常に温かく見守り、時には自分の子どもであつてつながろうと本気で叱れる存在であり続けることを求めているので

防犯について

去る十一月十二日に「通学路の安全確保」についての緊急会議がありました。

当日は、今ではかなりの学校でパトロール隊を結成していることだから、皆さんジャンパーくらい着てくるだろうと思つて、わが校の蝶屋女子サボート隊のジャンパーを着ていきました。しかし意外にも私一人だったのです、蛍光のジャンパーは目だつて仕方がありませんでした。

会議の中で私が一番印象に残ったのは、松任警察署の高畠課長のお話で、保護者の努力も必要だという言葉でした。「ご自身がP.T.A.をされたときに、街頭の設置のために保護者として努力された経験を聞き、私たちも忘れないことを教えられました。ともすれば予算がない行政や警察が動いてくれないから出来ないと言つて手をこまねいばかりで何も進まないこともあります、自分たちでやっていって、行政、警察、地域にまで運動を広める努力が必要なんだと改めて考えさせられました。

通学路の安全については、教

育長の話の中にもありました。子どもの目線で考えることが大切ではないかと思います。子どもの目線に立った危険箇所の点

検が最重要だと思います。また、

子ども達にも安全教育をしつ

かりしていくことが必要だと思います。

また、行政や警察の情報が学

校や保護者にいち早く届くよう

な連絡網の整備を整え、その上

で家庭と学校と地域が連携して

犯罪抑止に努めていくことが大

切だと思います。防犯の取り組

みは一過性で終わることなく、

継続性のある取り組みが最も重

要ではないで

しょうか。

今年度、市Pとして児童生徒の通学路に関する安全対策要望を白山市防災安全課へ提出しました。この要望は子ども達の通学路で危険と思われる箇所に対して改善を求めるのが趣旨です。合併後、間もない時期でもあり、市として受け入れ体制がまだ整っていないかったのかもしれません。又、合併で地域によって地域差が出る結果になつてしましました。

今後も子ども達の安全確保のためには続けていくほしの事業

として地域差が出る結果になつてしましました。

今まで子ども達の安全確保の

問題を全ての人が自らのこととして考えることは容易ではありません。

それでも時代は今、私達大人が子ども達を「地域の宝」として常に温かく見守り、時には自分の子どもであつてつながろうと本気で叱れる存在であり続けることを求めているので

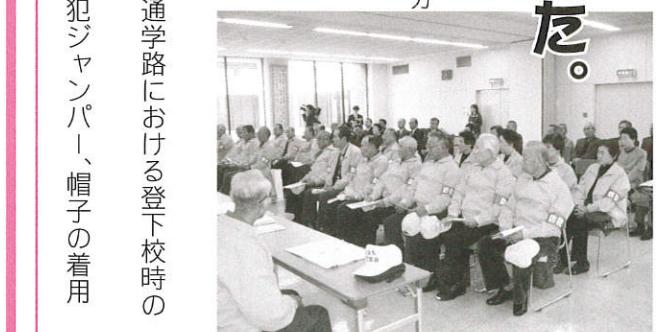
美川地区で老人クラブによる見守り隊が結成されました。

「児童生徒見守り隊」発足式

日時：平成18年2月2日(木)午前9時30分
場所：白山市役所美川支所 大会議室
主催：白山市美川地区老人クラブ連合会
来賓：白山市教育長、松任警察署長、
美川支所長、美川交番所長
各小中学校長、PTA・育友会会長

活動内容：

- 各小中学校、幼稚園、保育園周辺及び通学路における登下校時の見守り
- 老人クラブ各員の外出時における防犯ジャンパー、帽子の着用



通学路交通安全対策会議

市P事務局 横秋 博美

今年度、市Pとして児童生徒の通学路に関する安全対策要望を白山市防災安全課へ提出しました。この要望は子ども達の通学路で危険と思われる箇所に対して改善を求めるのが趣旨です。合併後、間もない時期でもあり、市として受け入れ体制がまだ整っていないかったのかもしれません。又、合併で地域によって地域差が出る結果になつてしましました。

今後も子ども達の安全確保のためには続けていくほしの事業

として地域差が出る結果になつてしましました。

今まで子ども達の安全確保の

問題を全ての人が自らのこととして考えることは容易ではありません。

それでも時代は今、私達大人が子ども達を「地域の宝」として常に温かく見守り、時には自分の子どもであつてつながろうと本気で叱れる存在であり続けることを求めているので

あります。広域ゆえしかたがな

いことですが、一団体から要望を提出しても管轄が分けられ、

対応も異なり、一つの事業に対

して地域差が出る結果になつて

しました。

今後も子ども達の安全確保の

問題を全ての人が自らのこととして考えることは容易ではありません。

それでも時代は今、私達大人が子ども達を「地域の宝」として常に温かく見守り、時には自分の子どもであつてつながろうと本気で叱れる存在であり続けることを求めているので

あります。広域ゆえしかたがな

いことですが、一団体から要望を提出しても管轄が分けられ、

対応も異なり、一つの事業に対

して地域差が出る結果になつて

月 日	会 務	出席者等	会 場
7月28日(木)	白山市誕生記念行事・教育講演会 五木 寛之氏	PTA会員	タレイン
7月31日(日)	石川県知事懇談会 「ほっと石川県民のつどい ~白山市のつどい」	松本会長 加納副会長	市民交流センター
8月 7日(日)	アニメーション「あした元気にな~れ！」	PTA会員	松任文化会館
	講演会「家庭に笑い声がきこえますか」 講師：志々目真理子 氏	PTA会員	タレイン
8月10日(水)	広報委員会	広報委員	松任文化会館
8月23日(火)	県P第2回 理事会、事務担当者会	松本会長 織田県P副会長 事務局	県生涯学習センター
8月26日(金) 27日(土)	第53回日本PTA全国研究大会 愛知大会	松本会長 西田副会長 織田県P副会長	愛知県 名古屋市総合体育館 一宮市民会館
9月6日(火)	広報委員会	広報委員	松任文化会館
9月20日(火)	広報紙『市P連 白山』第1号発行		
10月21日(金) 22日(土)	第61回 東海北陸ブロック PTA研究大会 三重大会	松本・山内・西田 織田・岩上・黒田 山本・圓角・事務局	四日市市文化会館 じばさん三重
10月29日(土)	教育懇話会 交流会	役員・常任委員 幹事・顧問 単P会員 教育委員会	タレイン 松任グランドホテル
11月 1日(火)	「いしかわ教育の日」制定 記念講演会・発表会	織田県P副会長 他	石川県文教会館
11月 2日(水)	県P連地区別研究発表 松任小学校PTA	PTA会員	松任小学校
11月 6日(日)	青年会議所周年記念事業 講演『ヤンキー新たなる挑戦！』	PTA会員	松任文化会館
11月 8日(火)	県P第3回 理事会	松本会長 織田県P副会長	県生涯学習センター
11月27日(日)	第52回 石川県PTA大会	PTA会員	県地場産業振興センター
12月 6日(火)	県P連家庭教育委員会 人権教育講演会 山岸 弘子 氏 『言葉が子どもを変える』	織田県P副会長 加納副会長 単P会員	県生涯学習センター
12月 6日(火) 7日(水)	子どもセーフティフォーラムin いしかわ・ののいち	PTA会員	野々市町文化会館 フォルテ 野々市情報交流館
12月20日(火)	教育委員会との懇談（要望書回答） 教育長・教育部長・事務参事 庶務、学校教育、生涯学習課長	松本会長 山内・西田副会長 小寺・村単P会長 事務局	市役所
2月 1日(水)	広報委員会	広報委員	松任文化会館
2月21日(火)	広報委員会	広報委員	松任文化会館
3月 8日(水)	広報紙「市P連 白山」第2号発行		

役員会 7回 常任委員会 6回

平成
17年度 活動報告

月 日	会 務	出席者等	会 場
4月13日(水)	教育長への挨拶	役員	市役所
4月23日(土)	総会・表彰式・交流会 平成17年度新役員承認 活動方針、事業計画、予算の承認	役員、常任委員 代議員、来賓 表彰者	レツツホールつるぎ
5月11日(水)	リーダー研修運営委員会	運営委員	松任文化会館
5月13日(金)	県P第1回 理事会、事務担当者会	松本会長 織田県P副会長 事務局	ホテル日航金沢
5月14日(土)	市P広報研修会 講師：中日新聞社 橋本 敦子 氏	単P広報委員 市P広報委員	市民交流センター
5月21日(土)	スポーツ交流実行委員会	実行委員 本井指導員	北辰中学校体育館
5月27日(金)	県PTA総会	県代議員 松本会長 西田副会長 加納副会長 織田県P副会長	県生涯学習センター
5月28日(土)	会員スポーツ交流会	交流会運営委員 PTA会員	白山郷公園体育館
6月10日(金)	県P指導者研修会	各単P役員	ホテル日航金沢
6月17日(金)	県P家庭教育委員会	加納副会長 織田県P副会長	石川県文教会館
6月18日(土)	アニメ「あした元気にな~れ！」試写会	PTA会員	石川県文教会館
6月25日(土)	市Pリーダー研修会 分科会形式による情報交換及び学習会	役員、常任委員 単P役員、学級委員 地区委員	レツツホールつるぎ
7月 1日(金)	白山・野々市子ども自然体験活動推進連絡会	松本会長	野々市カメリア
7月 2日(土)	白山市青少年の主張	松本会長	学習センター
7月 8日(金)	男女共同参画トップセミナー	松本会長 西田副会長 事務局	市民交流センター
7月 9日(土)	第3回拡大常任委員会・交流会 リーダー研修会運営委員会 広報委員会	役員、常任委員 単P会長 運営委員 広報委員	かんぽの郷 白山尾口
7月11日(月)	県P家庭教育委員会	加納副会長 織田県P副会長	石川県文教会館
7月20日(水)	通学路交通安全対策要望書提出	松本会長 事務局	市役所 防災安全課



雪山便り

鳥越小学校育友会会長 宮村 正人

今年はとりわけ雪が多いですが、平年でも大雪の中で元気に学んでいる山麓地区の子どもたち。ここでは、山麓地区的学校の冬の様子について、その一端をご紹介しようと思います。

【集団登校の先駆者!】

みなさんは「流雪溝」ってご存知ですか? 地域ぐるみでの除雪が必須となる山麓地区では、個人でも一定程度の除雪ができるよう、雪を捨てる(流す)ための「流雪溝」と呼ばれる水路が幅広く整備されています。たくさんの雪を流すのが目的ですので、水量や水流の早さが確保されるつくりになっています。逆に言うと、もし子どもたちが落ちたり、命にかかわります。そこで、白峰地区では、流雪溝への転落事故を防止し、また、万が一事故が発生してもいち早く助けを呼べるよう、例年、集団登校が実施されています。老人会の方々も街頭で子どもたちの安全を見守ってくれているとのことですので、いろんな意味での子どもたちの「安全」が確保される取組みになつていてるといえるでしょう。

【校舎屋根の除雪】

鳥越地区で民家が崩壊する事故が発生したのを契機に、業者に委託して屋根の除雪作業を行つた学校もいくつありました。

でも、その時期といえば、各地区での除雪作業モビールの時期で、人手が足りません。そこで、尾口小中学校では小型バーナーショベルを、吉野谷小中学校では小型除雪機を、それこれクレーンで屋根に上げて、除雪作業をしました。ご、豪快すぎる!



【除雪作業員の方のうれしい配慮】

鳥越小学校の正面には、この時期、小高い雪の山がそびえています。これは、重機で除雪する作業員の方が、子どもたちが遊びやすいように形を整えて作ってくれたものです。雪の降りしきる中、早朝の除雪作業では、誰でも早く仕事を終わらせたいものだとと思うのですが、そんな中、ひと手間かけて山を作つてくれる作業員の方の気持ちには頭が下がります。そんな気持ちに応えるかのように、子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。

【ボランティアの協力でスキー教室】

鳥越小学校では、一シーズンに六回(各学年二回)のスキー教室(スキー遠足)を実施しています。ここで活躍しているのが、育友会会員によるボランティア。今年は、延べ二十四名の会員が参加し、先生とともに、スキー技術の指導や子どもたちの安全確保に取り組んでいます。平日なので仕事を休む必要があるのですが、中には複数回参加してくださる方もいます。大人の人數が多いので、目配りが行き届くほか、子どもたちの技量に応じたグループ分けも可能になり、とても有意義な行事になっています。



編集後記

(広報委員) 足津 恵美子
片田 圭一
北村 明夫
塩谷 貴子
宮村 一洋
本尾 幸枝
本江 正芳
山岸 秀次

今年度の市P連の活動もあとほんの少しになりました。大きくなつた白山市内の単位P.T.A.はそれぞれが個性的で、お互いにたくさんのお互いにたくさんの刺激を受けたような広報委員会でも、情報交換に今までとは違う発見や驚きがあり、大変楽しい一年でした。新市のP.T.A活動の様子を、うまく皆さんにお伝えすることができただろうかと、反省しながら一年を振り返っているスタッフ一同です。